



今こそ、タイへ～新しい旅への誘い～

THAILAND REPORT

2023.Vol.76

タイ観光の新時代へ Amazing New Chapters ～2023年 Visit Thailand Year (タイ観光年)～

日本人観光客にとって、コロナ禍前のタイ観光の日常が戻ってきた。出入国に関する規制や国内での行動制限がほぼ解除され、マスク着用義務も公共交通機関内などごく一部に残るだけとなり、それ以外の場所で人々のマスク姿を見ることが稀になった。観光スポットの夜を彩るイルミネーションや各種イベントも復活し、外国人観光客の賑わいも戻ってきた。

TAT東京事務所・カジョンデート・アピチャートラクン所長 メッセージ



2023年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
TATとタイ観光業界は、コミュニケーション戦略として「Visit Thailand Year 2023: Amazing New Chapters」キャンペーンを継続し、日本市場については、業界界のパートナーとともに「今こそ、タイへ～新しい旅への誘い～」プロモーションを継続、更に強化していきます。
TATでは、Food、Film（映画、BLドラマ）、Fashion、Festival、Fight（ムエタイ）の5Fと、4M（Music、Museum、Master、Metaverse）のソフトパワーを駆使して、国際市場の再構築に取り組んでいます。より魅力的で記念に残る体験を、皆様方に提供できるものと確信しております。
「新しい章」が始まりました。今、タイは完全に開国し私たちは両手を広げて皆様をお迎えしています。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

「今こそ、タイへ～新しい旅への誘い～」 キャンペーンを旅行会社と実施

タイの観光受け入れ態勢がコロナ禍前の環境に近づいてきている状況を受けて、タイ国政府観光庁（TAT）は旅行需要の早期回復を目指し「今こそ、タイへ～新しい旅への誘い～」キャンペーンを実施中だ。2023年3月までのキャンペーン期間中は、日本の旅行会社の協力を受け、リピーター、ファーストビジター、グループ、出張者、FIT、アクティブシニア、女性旅行者、ゴルファー等のニッチ層などを含む幅広い旅行目的を持つさまざまな客層、年代層、旅行形態に対して旅行特典を用意し、旅行需要を喚起する。



キャンペーンスタート時の参加旅行会社は7社（HIS、ジャルパック、JTB、NOE、東武トップツアーズ、エアトリ、日本旅行）だったが、2023年1月からはKNTと令和トラベルの2社が加わり、合計9社の旅行会社がキャンペーンに参加。協力体制の拡大により、さらに強力にキャンペーンを推進している。

日タイ間航空便、 新規運航と運航再開情報

日本からタイを訪れる日本人旅行客と、訪日タイ人旅行客が増加傾向にあり、日タイ間の航空便も徐々に拡大。コロナ禍によって運航を休止していたフライトの再開や路線の新規開設を含み航空座席供給が急速に増強されている。

福岡とタイを結ぶ航空便は、タイの2つの空港に乗り入れている。タイ・ベトジェットは福岡空港/スワンブーム空港（バンコク）間を運航し、タイ・エアアジアは福岡空港/ドンムアン空港（バンコク）間を運航している。またタイ国際航空も2022年10月から福岡空港/スワンブーム空港間を運航している。

さらに2022年12月からはタイ国際航空とタイ・エアアジアXが、運休していた札幌/バンコク間の運航を再開したのに加えて、ピーチ・アビエーションが2022年12月から新たに関西/バンコク間に就航し、2月よりタイ・ベトジェットが関西/チェンマイ間の運航を予定している。



中央 シリントーン大使、左 カジョンデート東京事務所所長、右 TGTリテリ日本地区統括

バンコクとパタヤの 研修旅行を実施

日本政府の水際対策が2022年10月から大幅に緩和されたことによって日本の海外旅行市場が動き始めたのに伴い、TATは旅行業界を対象とする研修旅行を本格的に再開。12月10日～15日の日程でタイの最新状況を現地視察する研修旅行を実施した。

研修旅行の参加対象は、TATが2022年10月にセールスコールを行った仙台地域の旅行会社で、グループツアーの目的地としても人気の高いバンコクとパタヤを視察し



た。研修参加者は、日常を取り戻すタイの最新観光状況を確認したほか、TATがプロモーションに力を入れるCBT（コミュニティーベースツーリズム）を体験するためタキアン・ティア・コミュニティを訪問した。

「ミシュランガイド・ タイランド2023」 多数の星付きレストランを掲載

タイ版のミシュランガイド「ミシュランガイド・タイランド」の2023年版が2022年11月に発行され、数多くの魅力的なレストランが紹介されている。2023年版の星付きレストランは2つ星6店、1つ星29店で、このほかグリーンスター3店、特別賞3店となっている。またピブグルマン（高品質な料理を提供する、食事代1000バーツ以下＜飲料を除く＞のレストランや屋台が対象）として189店を掲載。地域別の掲載店舗数はバンコク近郊82店、アユタヤ13店、チェンマイ27店、プーケット23店、パンガー11店、イサーン（東北地方）33店となっている。なお23年版からはイサーンが新たに対象地域に加わったこともあり新規掲載店舗数は53店となった。



TATの新コンセプト Amazing New Chaptersの キーワードは 5つの「F」と4つの「M」

TATは2022年・2023年のタイ観光年を機に新たな時代を切り拓いていく考えで、Amazing New Chapterをコンセプトに掲げている。このコンセプトはThainess（タイらしさ）を表す5つの「F」と4つの「M」がキーワードとなっている。

5つの「F」はFood（食）、Film（タイの映画やドラマ、Boys Loveものなど）、Fashion（ファッション）、Festival（祭り・イベント）、Fight（ムエタイなど）、また4つの「M」はMusic（ミュージック）、Museum（ミュージアム）、Master（マスター）、Metaverse（メタバース）とこのソフトパワー基盤を活用するという戦略。そして、主要な観光地での有名アーティストやセレブの人気を通じてタイをプロモーションし、今までにない新しい視点で再発見する内容だ。

タイ観光大使に「佐藤三兄弟」



左から綾人さん、颯人さん、嘉人さん

また多様なタイの魅力が今までにない新しい切り口で紹介するため、タイ観光大使に佐藤三兄弟（佐藤綾人さん、颯人さん、嘉人さん）を任命している。佐藤三兄弟は男子新体操の全国大会で上位入賞を果たした三つ子の兄弟。三つ子ならではの見事なシンクロアクロバット動画が反響を呼び、SNSを中心に多くのファンを獲得している。TATではアクロバットとタイの観光地を融合させた新たなタイの魅力発信を佐藤三兄弟に託している。

12月には現地集合・現地解散で佐藤三兄弟のファンミーティングツアーが実施さ

れ、日本から13名が参加した。参加者は佐藤三兄弟と共に水上マーケットやアユタヤの観光を楽しみ、タイとアクロバットという斬新な魅力の組み合わせを楽しんだ。

また、佐藤三兄弟のSNSではタイの魅力発信、更新しており、観光庁からアクセスできる。

<https://www.thailandtravel.or.jp/tourism-mbassadorsatotrilets/>

JR北海道のキハ183系が タイで観光列車に

日本での現役を引退したJR北海道の鉄道車両「キハ183系」がタイ国鉄の観光列車として第2の人生をスタートした。タイに渡ったキハ183系は製造後40年以上が経過しているが、直線を活かした剛直なデザインが人気だった車両で、バンコクからの日帰り可能な200km圏内を往復する路線を走る。2022年12月24日、25日にバンコク/チャチュンサオの日帰り開運観光ツアーを実施。朝食には日本式のお弁当も用意された。日、タイの鉄道ファンを魅了した。



タイで出会った新しいストーリー

ニュー・ニュー・タイランド 僕たちが好きなタイランド

TATはアメージングニューチャプターズのコンセプトのもと、出版社トゥーバージズとタイの新しい魅力をTATウェブサイトで紹介している。これは『ニュー・ニュー・タイランド 僕が好きなタイランド』の著者、竹村卓が出会ったタイを紹介する連載で、コーヒー、アート、スケートボード、音楽、グルメなど月1回のペースで更新している。

<https://www.thailandtravel.or.jp/newnewthailandindex/>